

## 平成26年度

事業報告書並びに収支計算書及び貸借  
対照表、正味財産増減計算書、財産目録、  
附属明細書（案）

# 公益目的事業1

## 駿府博物館の展覧会事業及び教育普及事業

### A. 展覧会活動

#### 1. 駿府博物館移転記念 コレクション展「Ⅰ-四季讃歌- & Ⅱ-黒白の美-」

主催	駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
会期	2014年4月5日（土）～6月29日（日） Ⅰ [日本画]: 4月5日（火）～5月11日（日） [32日間] Ⅱ [水墨画・書]: 5月17日（火）～6月29日（日） [38日間]
開館日数	70日間
開館時間	午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日（5月5日は開館し、7日休館）
会場	駿府博物館（静岡市葵区紺屋町15-4）
入館料	一般300円 高・大学生100円 ※中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
内容	当館所蔵の日本画と書・水墨画の名品の数々を披露するコレクション展を開催。日本画は「四季讃歌」と題して4月5日から5月11日まで、書・水墨画は「黒白の美」と題して5月17日から6月29日まで開催した。
イベント	●日曜ギャラリートーク 会期中、毎週日曜日午後2時から学芸員が作品の鑑賞ポイントなどを解説した。  参加者：合計 <u>136</u> 人（13回実施）

入館者 有料：1,463 人 無料：355 人 合計：1,818 人

#### 2. リニューアルオープン記念 コレクション展「FACE」

主催	駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
後援	静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
会期	2015年1月10日（土）～2月1日（日）
開館日数	20日間
開館時間	午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日	月曜日（ただし1/12は開館し、翌日休館）
会場	駿府博物館（静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送会館別館2階）
入館料	一般200円、高校・大学生100円 ※中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
内容	本展はリニューアルオープンを記念すると共に、地域の皆様に当館を知っていただくお披露目の場であると位置づけた。新しい展示室で初めて開催する展覧会のテーマは「顔」。コレクションはミュージアムのまさに「顔」であり、「ブランド」そのもの。当館の「顔」とも言える近代日本画コレクションの美人画・人物画を中心に、油彩、版画、木彫など様々な技法で制作された「顔」にまつわる作品を披露した。
イベント	●エデュケーション・プログラム「ギャラリートーク」 毎週土・日曜日午前11時と午後2時から（1/11（日）、25（日）の午後の部なし）、学芸員による鑑賞ポイントの解説を実施。  参加者：合計 <u>131</u> 人（14回実施）

入館者 有料：1,290 人 無料：520 人 合計：1,810 人

### 3. 企画展「画家 藤原由葵—ここに生息！」

主 催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）  
 協 力 杉山照治、YOKOI FINE ART 株式会社  
 後 援 静岡新聞社・静岡放送、静岡市教育委員会  
 会 期 2015年2月7日（土）～3月15日（日）  
 開館日数 32日間  
 開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
 休 館 日 月曜日  
 会 場 駿府博物館（静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送会館別館2階）  
 入 館 料 一般500円、高・大学生300円 ※中学生以下・障害者手帳呈示の方無料  
 内 容 新進気鋭の静岡市生まれの油彩画家・藤原由葵の作品34点を展示。  
 イベント ●藤原由葵のギャラリートーク（聴講無料）  
           日時 第1回:2月8日（日）14:00～、第2回:2月28日（土）14:00～  
           場所 駿府博物館展示室

参加者：合計 97人

●ワークショップ「藤原由葵の楽しいデッサン入門編（参加費無料）」  
 日時 3月7日（土）10:00～15:00  
 場所 静岡新聞放送会館4階会議室

参加者：合計 27人

入 館 者 有料：644人 無料：451人 合計：1,095人

### 4. 第38回蘇峰会静岡県書道展

主 催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）  
 共 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送  
 後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟  
 会 期 3月17日（火）～3月29日（日） ※会期中、展示替え実施  
       前期：3月17日（火）～3月22日（日）〔6日間〕  
       後期：3月24日（火）～3月29日（日）〔6日間〕  
 開館日数 12日間  
 開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
 休 館 日 3月23日（月）  
 会 場 駿府博物館（静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送会館別館2階）  
 入 館 料 無料  
 内 容 徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募総数2,785点の中から、  
       最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞55点、優秀賞291点、あわせて346点を展示した。

入 館 者 無料：616人

平成26年度 展覧会 入館者	有料	3,397人	無料	1,942人	合計	5,339人
----------------------	----	--------	----	--------	----	--------

## B. 教育普及活動

### 1. 第 11 回駿府博物館短期歴史講座「近代国家への道・明治期の静岡」

主催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）  
協力 静岡県近代史研究会  
会場 静岡 新聞放送会館 4 階会議室（静岡市駿河区登呂 3-1-1）  
受講料 5,000 円（税込）※全 4 回分。資料代含む  
募集人数 50 人  
申込者数 60 人（実際の参加者数 1/11：55 人、1/25：52 人、2/8：54 人、2/22：40 人）  
内容 明治時代に入ると、政治、経済、教育、産業などあらゆる分野で外国の考え方や方法が導入され、新しい国づくりが推進された。駿遠豆の三国（駿河、遠江、伊豆）は静岡県となり、今も残る見付学校や岩科学校のような洋風校舎が建てられ新しい教育が始まる。また、先覚者によるミカン栽培、織物、楽器、製糸工場の建設など、産業の発展がはかられた。こうした産業の発展や新しい時代への動きに、明治 22（1889）年開通した東海道鉄道（後に東海道本線と改称）をはじめとする鉄道の発展が大きな役割を果たす。当講座は、近代国家として成立していく明治の静岡を 4 つのテーマで講義した。

講義・講師・テーマ

- 【第 1 回】2015 年 1 月 11 日（日）13：30～15：30  
「文明開化 駿府から静岡へー変わりゆく「人」と「もの」ー」  
講師：静岡県近代史研究会幹事 岡村龍男 氏
- 【第 2 回】2015 年 1 月 25 日（日）13：30～15：30  
「静岡県の自由民権運動」  
講師：静岡県近代史研究会 加藤善夫 氏
- 【第 3 回】2015 年 2 月 8 日（日）13：30～15：30  
「日清・日露戦争と郷土部隊」  
講師：静岡県立掛川東高等学校教諭 村瀬隆彦 氏
- 【第 4 回】2015 年 2 月 22 日（日）13：30～15：30  
「小杉あさと静岡県の盲教育」  
講師：静岡県立浜松視覚特別支援学校教諭 足立洋一郎 氏

入館者 のべ参加者数：201 人（1/11：55 人、1/25：52 人、2/8：54 人、2/22：40 人）

## 公益目的事業2

### 社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

#### A. 社会福祉事業への助成及び支援

##### 「第 52 回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた善意の寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈した。今、最も必要とされているものを必要としているところに届けるため、財団 HP と静岡新聞及び静岡放送のテレビ・ラジオを通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査のうえ、寄贈品と寄贈先を決めた。

1. 寄付金 15,190,817 円 繰越金 12,126,308 円 合計 27,317,125 円  
2. 寄贈団体 車両・・・9 団体 資機材・・・8 団体

## **B. 災害救援活動への助成支援**

### **「広島土砂災害義援金」**

平成 26 年 8 月 20 日未明に広島市で発生した甚大な土砂災害に対する義援金の受け付けを行い、その全額を日本赤十字社静岡県支部に寄付した。

義援金 521 件 16,017,171 円

## **公益目的事業3**

### **地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰**

#### **「第 4 回ふるさと貢献賞」**

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「小中学生の部」と「高校一般の部」に分けて行った。

表彰団体・個人・・・「小中学生の部」7 団体  
・・・「高校一般の部」1 個人、7 団体

## **収益事業**

### **A. 図録などの販売**

展覧会事業において、展覧会図録等の関連商品の販売を行った。

- 1) コレクション展「FACE」リニューアルオープンにむけて所蔵品のファイルを 3 種類制作(有料頒布)
- 2) 企画展「画家 藤原由葵—ここに生息！」図録 1,000 部制作(有料頒布)

### **B. 画廊の貸与**

個人やグループの展覧会のために一週間単位で画廊を有償貸与した。(移転まで)

1. 本山和泉親子作陶展 平成 26 年 4 月 8 日～4 月 13 日
2. 第 4 回創美静岡幼児画展 平成 26 年 5 月 20 日～5 月 25 日
3. 芝桜フォトコンテスト入選作品展 平成 26 年 7 月 5 日～7 月 21 日

### **C. 自動販売機の設置**

移転まで入館者の便宜を図るため飲料の自動販売機 3 台を稼働した。

### **D. 複製品の販売**

専門業者を通じて所蔵品の複製品を販売した。

## **館内業務**

### **1. 事務所及び駿府博物館の移転**

事務所を平成 26 年 8 月 1 日に静岡市駿河区登呂 3-1-1 に移転。静岡市葵区紺屋町の駿府博物館は解体された。展示室は平成 27 年 1 月に駿河区登呂にリニューアルオープン。

### **2. 職員の移動**

平成 26 年 6 月末で学芸員の北泉剛史が退職した。  
平成 27 年 3 月末で館長の佐野勝美が退職した。

### 3.館蔵品の修理

株式会社墨仁堂(静岡市葵区大岩 1-4-4)に依頼し、以下作品の修理を行った。

- ・烏丸光廣 「詠草懐紙」
- ・伊藤小坡 「虫壳(右幅)」
- ・中村不折 「鐘馗」

以上 3 点

## 館外業務

### 1.作品の貸与・出品

- 1) 貸出先: 平野美術館  
作 品: 橋本雅邦「煙雨帰漁図」、松林桂月「寿老・松竹梅」  
貸出品: 作品、ポジフィルム(※煙雨帰漁図のみ)  
使用目的: 特別展「近代日本画を味わう - 県内美術館所蔵作品を中心に -」(2014年11月1日-12月21日)にて展示及び広報物掲載  
貸出料: 80,000円(税込)  
貸与期間: 2014年10月22日-12月26日
- 2) 貸出先: 高崎市タワー美術館  
作 品: 下村観山「達磨」  
貸出品: 作品、ポジフィルム  
使用目的: 企画展「美術でたどる物語」(2015年1月31日-3月22日)にて展示。  
貸与期間: 2015年1月23日-3月25日
- 3) 貸出先: NPO法人キッズアートプロジェクトしずおか  
作 品: 浦田周社「初夜上堂」、海野光弘「西伊豆の男衆」、山下淳子「気分をかえて」  
貸出品: 作品  
使用目的: キッズアートプロジェクトしずおか 移動美術館「発見!キッズアート!」にて展示。  
【前期】静岡市こどもクリティティブタウン『ま・あ・る』(2015年3月7日-15日)  
【後期】沼津商工会議所コミュニティホール(2015年3月21日-29日)  
貸与期間: 2015年3月4日-3月31日
- 4) 貸出先: 15 現代書作家展・しずおか運営委員会(事務局: 柿下木冠)  
作 品: 沖 六鵬 作品 計15点  
貸出品: 作品  
使用目的: 「15 現代書作家展・しずおか 併催 沖六鵬展」(2015年3月24日-4月5日)にて展示。  
貸与期間: 2015年3月21日-4月6日

### 2.写真撮影及び掲載等

- 1) 貸出先: 静岡市役所 市長 田辺信宏  
作 品: 土佐光成「駿府鳥瞰図」  
貸出品: ポジフィルム  
使用目的: 「駿府まち巡りマップ」掲載のため  
貸出料: 無料  
貸与期間: 2014年5月1日-5月13日

- 2) 貸出先：株式会社四季出版 代表取締役 中村集  
作 品：橋本雅邦「林間残照図」、狩野探幽「破墨山水図」、平福百穂「青梅」  
貸出品：ポジフィルム  
使用目的：月刊『水墨画』7月号掲載のため  
貸出料：無料  
貸与期間：2014年5月1日-6月8日
- 3) 貸出先：株式会社静岡新聞社 営業局広告センター 大林寛  
作 品：土佐光成「駿府鳥瞰図」  
貸出品：ポジフィルム  
使用目的：静岡新聞 家康特集号（朝刊全県版、別刷り12ページ）「駿府は日本の首都だった！」  
において使用  
貸出料：無料  
貸与期間：2014年6月6日-6月11日
- 4) 貸出先：開隆堂出版株式会社 取締役社長 大熊隆晴  
作 品：橋本雅邦「林間残照図」  
貸出品：ポジフィルム  
使用目的：『美術 表現と鑑賞（2015年度改訂版）』掲載のため  
貸出料：21,600円（税込）  
貸与期間：2014年10月1日-10月24日
- 5) 貸出先：鎌倉市鐮木清方記念美術館 館長 真室佳武  
作 品：鐮木清方「山姥と金太郎」  
貸出品：ポジフィルム  
使用目的：「鐮木清方の随筆『こしかたの記』を読む その二 —『報知新聞』大正期掲載挿絵  
及び関連口絵所収—」掲載のため  
貸出料：無料  
貸与期間：2014年12月10日-2015年1月14日
- 6) 貸出先：久能山東照宮博物館 館長 落合偉洲  
作 品：土佐光成「駿府鳥瞰図」  
貸出品：ポジフィルム  
使用目的：『家康公顕彰四百年記念号 謎解き 徳川家康』掲載のため  
貸出料：無料  
貸与期間：2014年12月10日-2015年1月14日
- 7) 貸出先：株式会社静岡新聞社 営業局企画推進部 白枝秀崇  
作 品：土佐光成「駿府鳥瞰図」  
貸出品：※駿府博物館図録の画像をスキャンし使用  
使用目的：Den bill 壁面への映像投影にて使用  
貸出料：無料  
貸与期間：2015年1月9日
- 8) 貸出先：SBSメディアビジョン 代表取締役 細澤道生  
作 品：土佐光成「駿府鳥瞰図」  
貸出品：ポジフィルム  
使用目的：SBSテレビ番組「静岡発そこ知り」内で使用（2015年4月27日放送予定）  
貸出料：無料  
貸与期間：2015年2月25日-3月3日

### 3.契約事項

- 1) (株)トップアートと「駿府博物館日本画名品十二選」複製画の販売再契約。(平成 21 年 12 月 25 日～)
- 2) (株)トップアートと伊東深水「吹雪」複製画の販売再契約(平成 21 年 12 月 25 日～)
- 3) (株)トップアートと川合玉堂「溪村春信」複製画の販売再契約(平成 21 年 12 月 25 日～)
- 4) 前野会計事務所と顧問契約(平成 22 年 7 月～)
- 5) (有)マネージメントタクトと TKC 会計システムのリース契約(平成 22 年 10 月～)
- 6) 光画コミュニケーション・プロダクツ(株)と図録「第 3 の男下村観山」販売契約(平成 26 年 1 月～)
- 7) 総合警備保障(株)と機械警備契約(平成 26 年 12 月 24 日～)
- 8) 総合警備保障(株)と警備機械リース契約(平成 27 年 1 月 2 日～)
- 9) リコーリース(株)とコピー機のリース契約(平成 27 年 1 月 1 日～)
- 10) 静岡放送(株)と事務所及び展示室の賃貸契約(平成 27 年 1 月 1 日～)
- 11) ユニー(株)アピタ静岡と駿府博物館チケット販売業務委託(平成 27 年 1 月 1 日～)
- 12) SBS 学苑と図録「画家一藤原由葵」販売契約(平成 27 年 1 月 1 日～)